

# 令和4年度スマートアイランド推進実証調査における取組概要

## 平郡島 (山口県柳井市)

ICT活用による、離島医療・物流の持続的確保のための実証調査プロジェクト

島内人口：348人(H27) 《概要》

**島の課題** 人口減少に端を発する医療福祉・物流における体制維持困難

- 常勤医不在による「無医地区エリア」化のため地域医療体制が不安定に
- 島のフェリーが1日2便のため、処方薬や生活物資の配送が限定的となり、住民生活のインフラに支障をきたしている。
- 高齢化による高齢者見守り担い手不足 (2021年 高齢化率80%)



### 調査体制

平郡メディテックアイランドコンソーシアム

AP TECH株式会社(代表団体)

山口県柳井市 株式会社NTTドコモ

山口県立医療センター ヘキ地医療支援部

一般社団法人いわてドローン操縦士協会

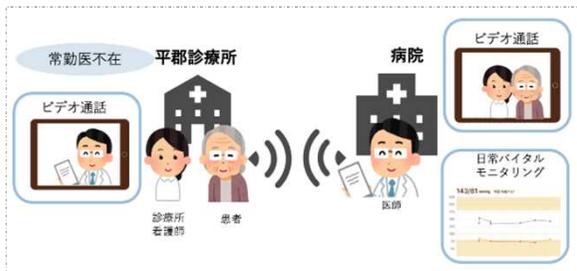
### 主な取組概要

- 柳井市立平郡診療所において、見守りサービスによって得られる日常バイタルを活用したオンライン診療体制（スマート診療所）を構築する。
- 島内東地区の診療所から西地区へのドローン処方薬配送を実施する。従来のLTE圏外を回避した実験と、最短距離でのLTE圏外における配送実験を行う。

### 目指す姿・期待する効果

#### (1) 日常バイタルを活用したオンライン診療体制構築

日常診療の質向上、島内医師不在時の体調急変時も遠隔で健康状態把握ができる等の利点を患者に提供する。遠隔であっても患者の健康状態がよりわかるため、患者だけでなく医療者もより安心して診療を行える。患者側のサービス費用負担が期待できるため継続性が高いことが期待される。



#### (2) 住民の生命維持インフラを支えるドローン物流体制の構築

本土より高齢化率が高く移動・処方薬調達に課題を抱える住民が多い、島内にLTE圏外地域を含み通常のLTE圏内に限った物流では配送に障害が出やすい、等の離島特有の条件下でも住民が生活必需品や処方薬を調達できる体制を構築する。高齢化率が高い島内でも生活や生命維持に必要な物資を継続的に配送できることが期待される。

## 湯島 (熊本県上天草市)

地産再エネ資源を利用したレジリエントでカーボンニュートラルな離島モデルの構築プロジェクト

島内人口：293人(H27) 《概要》

- 島の課題**
- 雇用の場が少なく若年層が流出し高齢化、空き家の増加・産業の担い手・後継者不足が深刻化。
  - エネルギーコストの高騰：島内の石油類は輸送費が上乗せされ価格高騰している。
  - レジリエンス機能の脆弱性：島内に発電設備がなく、海底ケーブルが切断されると復旧までに時間が必要である。
  - 地産資源である再エネ資源の利用が不十分：未利用な状態が継続している。



### 調査体制

上天草市湯島スマート推進協議会  
株式会社NTTデータ経営研究所 (代表団体)

上天草市

INSUS株式会社

合同会社湯島屋

### 取組概要

- 島の課題解決に向けたビジネスモデルを構築するため、本実証調査では蓄電池で家庭の電力を賄う実証等を行う。  
【想定するビジネスモデル】  
地域企業を中心とした地域エネルギー会社を設立し、  
①ソーラーシェアリング等での再エネ発電  
②発電電力を蓄電池に充電し、蓄電池を各家庭に提供する。

### 目指す姿・期待する効果

#### 解決すべき課題

- ① 雇用の場が少ないことに起因する若年層の人口流出による高齢化 (市内唯一の限界集落)
- ② エネルギーコストの高騰
- ③ レジリエンス機能の脆弱性
- ④ 地産資源である再エネ資源の利用が不十分
- ⑤ 島内における顕著な人口減少に起因する、空き家の増加、農水産業の担い手・後継者不足

- 島の課題解決に向けて、湯島をモデル地域としてソーラーシェアリングによるビジネスモデルを確立し、上天草市全体へと横展開していくことを想定。

